

セクシュアル・マイノリティ事例研究会主催 アドバンスレクチャー第1回
「セクシュアル・マイノリティにおける自傷、依存症について」

日 時 2014年1月12日(日) 10時30分から17時30分 (受付開始 10時より)
場 所 大正大学巣鴨校舎 5号館 552教室 (〒170-8470 東京都豊島区西巣鴨3-20-1)
対 象 セクシュアル・マイノリティ(レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー等)の心理的
支援・心理療法に関心のある心理臨床家、精神科医師、精神保健福祉士および、臨床心理学専攻
の大学院生の方で、守秘義務を守れる方。
参加費 (一般)4,000円 (大学院生)3,000円 * 当日、受付にてお支払いください。

※本研修会は、臨床心理士資格更新のためのポイントを取得できるワークショップとして臨床心理士資格認定協会に申請予定です。

<プログラム>

10:30~12:30 レクチャー1 「セクシュアル・マイノリティの抱えやすいメンタルヘルスの問題」
講師：日高 庸晴 先生

宝塚大学看護学部准教授。厚生労働省エイズ動向委員会委員。厚生労働省エイズ対策研究事業の一環として実施されているインターネットによるHIV予防に関する研究プロジェクトの研究代表者を務める。専門は社会疫学、行動科学、HIV/AIDS対策、ジェンダー・セクシュアリティ領域。行動疫学調査に社会心理学の手法を援用した社会調査を通じて、マイノリティであるゲイ・バイセクシュアル男性の抱え持つ健康問題を明らかにする調査研究を数多く実施し、エビデンス(データ)に基づく施策提言を行っている。

12:30~13:30 昼食休憩(持参された昼食を会場で召し上がることもできます。ゴミは各自お持ち帰りください。)

13:30~15:30 レクチャー2 「セクシュアル・マイノリティの自傷および薬物乱用・依存について」
講師：松本 俊彦 先生

精神科医師。独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所、薬物依存研究部 診断治療開発研究室長(自殺予防総合対策センター副センター長併任)。薬物依存の治療プログラムの開発、実施のかたわらで、中学校や高校で生徒にアルコール・薬物や自傷行為についての健康教育を行ったり、自傷行為の調査を行い、それらの分野で社会に向けての啓発活動も行っている。著作に、「薬物依存の理解と援助―『故意に自分の健康を害する』症候群(金剛出版 2005)、『自傷行為の理解と援助―『故意に自分の健康を害する』若者たち(日本評論社 2009)等。

15:45~17:30 事例検討 「うつの治療中に薬物使用がわかったゲイ男性のケース」
事例発表者：林 直樹 先生(東京武蔵野病院/しらかば診療所)

17:30 終了

申込方法 参加希望の方は、メールにて、①お名前(ふりがな)、②ご所属、③職名、④臨床心理士番号(お持ちの方)を明記の上、ご連絡ください。

(事務局 E-mail) smcs2013@yahoo.co.jp 申込み締切 2014年1月5日(日)

※ セクシュアル・マイノリティ事例研究会のメーリングリストへの登録を希望される方は、メールにその旨もご記載ください。(研修会の案内をお知らせします。また、登録者同士の情報交換にも利用いただけます)。